



## クローズアップ CLOSE UP

### まちなかに笑顔芽吹く

7月1日、中心市街地で前橋めぶくフェスを開催。フードとクラフト、アートの3部門の店が通りを埋め尽くし、たくさんの人が買い物を楽しみました。また、会場に設置された大きなテーブルでは、みんなで食事を満喫。笑顔あふれる一日になりました。



### 放水技術競い高め合う

消防団消防ポンプ操法大会を7月1日に開催。18チームが参加しました。この大会は5人1チームで、的を放水で倒すまでの所要時間や隊員の行動を得点化し競うもの。日頃の訓練の成果を発揮しようと、日差しが照り付ける中全力で挑みました。



### 役者8人が声で魅せる

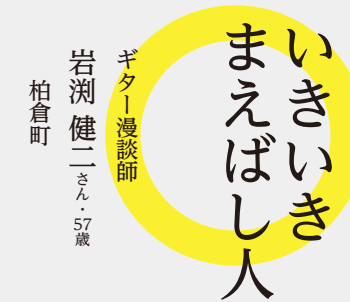
6月23日に前橋文学館でリーディングシアター「青森県のせむし男」を開催。寺山修司が脚本を書き昭和42年に初上演された作品を、萩原朔美演出で再演しました。出演者が物語を読み上げると、観客で埋まった会場はその世界観に一気に引き込まれました。

## CITY WATCHING

元々劇団に所属し全国を回っていた岩渕さん。結婚を機に前橋に移り住み、現在は人權教育の講師や紙芝居師、ラジオパーソナリティと、その活動は幅広い。関西弁の軽妙なトークに寸劇や即興曲を交えて観客を楽しませる。

岩渕さんの活動は「人が楽しめる場をつくりたい」という気持ちで原点にある。紙芝居では子どもにたくさん声を掛け、物語の世界に引き込む。また、ラジオは番組開始当初から観客と一緒に進行している。「ラジオ局隣のカフェで公開放送していたんだけど、毎回人が来てくれる。人が集まる場所を作れたんだと思う」と。

### 人とつながり、人が笑える場を



### うまし！ たのし！ 前橋もぐもぐ隊



#### Vol.2 キュウリ

園農政課  
☎ 027-898-5841

食べておいしい、知って楽しい旬な前橋産を、もぐもぐ隊員が紹介するこのコーナー。今回は、「キュウリ」をもぐもぐするため、富田町でキュウリなどを栽培している信澤智子さんの畑へ。

この時季のキュウリは露地栽培。どんどん大きくなるので、収穫は6月から7月が勝負です。朝と夕方の2回収穫し、午前中に富田町の直売所「ゆうあい館」に出荷します。



今回のもぐもぐ隊員は農政課の下田。広がるキュウリ畑に気持ちが上がります。



キュウリの収穫を教えてくださいました。丁寧に教えてくれました。



いざ収穫！「片手を広げた大きいくらいに育っているものが収穫のタイミング」と信澤さん。



刃を指につけて片手で収穫。カボチャを接ぎ木すると、病気に強いキュウリになるそう。



出荷を待つキュウリたち。つやつやです。とれたてが1番ということで、今回はその場でもぐしました。何も付けなくてもおいしい！